

頭山 (2002年/10分 日本)

監督：山村浩二

ケチな男がサクランボの種を食べたせいで、頭に桜の木を生やす。そこにむらがる無責任な大衆や、背後で不気味にそそりたつ高層ビル街。古典落語に現代的な息吹を吹き込んだ 2000年代の名作は、ちっぽけで視野の狭い人間たちの世界の背後に、巨大な宇宙を覗かせる。アヌシー、広島グランプリ、米アカデミー賞ノミネートほか。

スキゼン (2008年/13分 フランス)

監督：ジェレミー・クラパン

150トンの隕石と衝突したアンリは、自分の身体から 91cm 離れてしまうのだが、そのことを誰にも理解してもらえない。アニメーションだからこそ可能になる現代社会の宇宙的孤独感の表現。世界と断絶したアンリが沈みこむ内的宇宙。カンヌ映画祭コダック賞、アヌシー観客賞受賞ほか。

愛と剽窃 (2010年/7分 ドイツ)

監督：アンドレアス・ヒュカーデ

あんたのキャラクター、好きなんだ。盗んでいいかい？——マルから始まり、マルへと収束する、アニメーション・キャラクターたち (一部実在人物) の壮大なメタモルフォーゼ・ユニバース。ザグレブ特別賞、アヌシー音楽賞ほか。

タッドの巣 (2009年/5分 イギリス)

監督：ペトラ・フリーマン

しなるムチ、小さな人、大きな人、伸びる髪、ハサミ……タッドの巣、それは少女たちが必ず陥り、帰還できるそのときまで、感覚の記憶を育む場所。少女の心に宿る暗闇を生理的・官能的になぞるフリーマンの油絵アニメーション、久々の新作。

ルシア／ルイス (2007-2008年/8分 チリ)

監督：ヨアキン・コチナ、クリストバル・レオン、ナイルズ・アタラー

ルシアはルイスに恋した日のことを思い出す。今はどこかに消えてしまったルイスのことを。遠くに響くオオカミの声は彼の声を思わせる。心のざわめきが感染し、家具が壊れ、土が溢れ、壁が木炭で塗り込められる。致命的な出来事の起った夏の記憶が蘇る、戦慄の立体アニメーション二部作の完全版。ファントージュ映画祭グランプリ (『ルシア』)、ザグレブ特別賞 (『ルイス』) ほか。

RGBXYZ (2008年/12分 アイルランド)

監督：デイヴィッド・オリアイリー

すべてを捨てて都会に出て来た少年は、灰色の非人間的な都市環境に打ちのめされながらも、巨大な悪と対峙する——それが彼の運命なのだ。コンピュータ・バグのようなビジュアルで構成された無機質世界で語られる、現代の寓話。カルタスヴィラドコンデ最優秀アニメーション賞ほか。

このマンガはお前の脳をダメにする (2008年/5分 アメリカ)

監督：ブルース・ビックフォード

クスリで雑然とした心が我に返ろうと、神秘的な灯台と幼年期の記憶に導かれていく……かつてフランク・ザッパのお抱えアニメーターだった伝説の存在から届いた解体と生成譚。粘土だけでなく線画でも凄まじいんです。

きっとすべて大丈夫 (2006年/17分 アメリカ)

監督：ドン・ハーツフェルト

普通の人ビルの平凡な日常が、迫り来る病魔によって、ゆっくり、ゆっくりと崩壊していく。北米で絶大の人気を誇るハーツフェルトが贈る大作シリーズの第一弾。暗闇に浮かぶ棒線画と実写の驚くべきコンビネーションが開示する、日常的崇高の世界。情性的な世界に差し込む光、このうえなく新鮮な雨。サンダンス短編部門審査員大賞ほか。

あなたは私の誇り (2008年/22分 アメリカ)

監督：ドン・ハーツフェルト

死の淵から抜け出したビルに、今度は遺伝という暗い影が投げかけられる。家族の狂気の歴史に、ビルは自分の運命を次々に自覚する。『きっとすべて大丈夫』の続編。シンプルな描線が宇宙を凝縮し、ビルの夢想は時空を超えていく。ファーゴ映画祭最優秀作品賞・脚本賞ほか。

Animations Festival とは——

アニメーション作家山村浩二を中心に 2006年に結成された「Animations Creators and Critics」がお届けする、短編を中心とした新たなアニメーション映画祭です。



2010年 (内的) 宇宙の旅

A プログラム

[9作品 | 計99分]

3 © Studio Film Bilder

4 © Animate Projects

5 © Diluvio Gallery

6 © David O'Reilly Animation

7 © Bruce Bickford

8 © bitter films

9 © bitter films

※上映作品・上映順・上映メディアは予告なく変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

あなたのアニメーション観、変えます

これが新しいアニメーション。Animationsが世界中の映画祭から現代的な短編作品を独自に厳選した刺激的な2プログラム——

現代アニメーションの巨匠の最新作も、若手たちの先鋭的な意欲作も、アニメーション界の今後を担う学生作品も、2000年代のクラシック作品もすべてひっくるめて、「今」を物語る短編アニメーションをスクリーンで堪能できる貴重な機会をお見逃しなく! (ブルーレイ上映 全作日本語字幕付き)

1 © Klasky Csupo

2 © Atsushi Wada, Tokyo University of Arts

3 © David O'Reilly Animation

4 © Sensitive Bear

5 © Daniel Lundquist

6 © Wataru Uekusa

7 © Kristian Andrews

8 © 大山慶、愛知芸術文化センター

9 © Eesti Joonisfilm

10 © Eesti Joonisfilm

とかくこの世はせちがらい

B プログラム

[10作品 | 計103分]

フライング・ナンセン (1999年/11分 ウクライナ/アメリカ)

監督：イゴール・コヴァリョフ

探検家ナンセンは、女が待つ北極へと向かう。アニメーション界のタルコフスキー、もしくはプレッソンによる、極私的なフェイクドキュメンタリーアニメーション。イ・カステリ・アニメティ映画祭グランプリ、オタワ特別賞ほか。

わからないブタ (2010年/10分 日本)

監督：和田淳

みんなブタのことを知っているし、ブタもみんなのことに気付いているが、それぞれどれくらいにどんなふう知っているかは判らない。お母さんもお父さんのことが判らない。絶妙の間と反復のリズム、触感表現。人々のあいだのズレや不理解を許容する、奇妙でやさしい物語。アヌシー、ザグレブ、広島入選ほか。

プリーズ・セイ・サムシング (2009年/10分 アイルランド/ドイツ)

監督：デイヴィッド・オリアイリー

遠い未来に展開される、ネコとネズミの夫婦の困った関係の物語。純真な妻と冷酷な夫。レトロゲームのような3DCGで語られる、各 25 秒の高速 23 エピソードが構成するカートゥーン世界の現代的アップデート。お願いだから何か言って、なんだっていいから。ベルリン短編部門金熊賞、カートゥーン・ドール (ヨーロッパ最優秀アニメーション作品) 受賞ほか。

ダスト・キッド (2009年/10分 韓国)

監督：ジョン・ユミ

寒い冬の夜遅く、掃除を始めたユージンのもとにダスト・キッドが現れる。彼女たちは自分の姿によく似ていて、片付けても片付けてもきりがない……韓国の新鋭が贈る、自分自身と折り合いをつけることに関する現代の寓話は、宗教的な静けささえも漂わせる。カンヌ映画祭公式招待ほか。

ボリス (2009年/4分 アメリカ)

監督：ダニエル・ランドクイスト

タイコを叩くのが大好きなボリス。その音で村人の気は狂いそう。でも誰も彼を止められない。村人たちが最終手段を選ぶとき、ボリスはいかに抵抗するのか? アメリカ人にしか作れない極端なメタモルフォーゼが語る、アグリーでファニーな物語。非常に残酷だが、軽やかに気持ちが良い。アヌシー入選ほか。

向ヶ丘千里はただ見つめていたのだった (2009年/6分 日本)

監督：植草航

向ヶ丘千里は、めがねをかけた女の子に自分の存在を気付いてもらいたい。青春の孤独な焦燥感を画面上に滾らせる、美少女の地団駄アニメーション。滑らかな動きと過剰な情報力は快楽というよりも若者の自意識過剰な内面世界へとダイレクトに接続する。学生CG コンテスト優秀賞、下北沢映画祭グランプリ、YouTube Video Award Japan 2009 ノミネートほか。

ラビット・パンチ (2008年/6分 イギリス)

監督：クリスティン・アンドリュース

僕たちの暮らす場所では何も起こらない。だから特別なことをすることにした……北イングランドに暮らす 14 歳の少年の心に宿る苛立ちとやるせなさ。彼の人生に到来する、ちっぽけながらも致命的な一撃。韓国国際学生アニメーション映画祭グランプリほか。

HAND SOAP (2008年/16分 日本)

監督：大山慶

ニギビ、団地、カエルの解剖、黒電話、両親のセックス、女子学生の膝頭、そして雪。皮膚や髪の毛の接写画像のコラージュが構築する過剰なマチエール。かつて思春期を経験したすべての人に贈る静かな物語。ヨコハマ映像祭優秀賞、オーバーハウゼン映画祭賞、広島優秀賞ほか。

ディアロゴス (2008年/5分 エストニア)

監督：ウロ・ピッコフ

あらゆるものがハイテクでコンピュータに頼った現代社会を皮肉るコメディ。すべてを破壊し、無意味に帰する、フィルムスクラッチ新世代! 私はきっと飛べるはず、アイ(目)・キャン(缶)・フライ(蠅)! オタワ審査員特別賞ほか。

雨のダイバー (2010年/25分 エストニア)

監督：プリート・バルン&オリガ・バルン

男の仕事は昼の潜水夫。女の仕事は夜の歯科医。二人のキスはいつも別れのキス。男は潜ろうと、女は眠ろうとする。しかしその試みは果たされず、そして船は沈んでいく。エストニアの巨匠が新たなパートナーを得て迎り着いた、シュールと静けさと切なさの境地。ザグレブ、アニマ(ベルギー)グランプリ、広島ヒロシマ賞受賞ほか。